

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		児童生徒発表会事業		担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実		種別	任意的事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働	その他
予算科目コード		01-100102-06 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 児童生徒の各種学習・文化活動発表会等に係る費用を負担する。（市内音楽会・発表会、県芸術祭・インタラクティブフォーラム参加交通費等）
市内小中学校や他市町村の児童生徒との交流を通じて、児童生徒が見識を深め、芸術文化活動への向上心を養うことを目指す。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内小中学校の児童生徒の芸術文化活動への向上心を高めるとともに、豊かな心を育む。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が豊かな心を育み、良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
引き続き、各種学習・文化発表会への参加費用の負担を行う。	引き続き、各種学習・文化発表会への参加費用の負担を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
発表会への児童生徒の参加人数（人）	1, 010. 00	994. 00	996. 00	1, 000. 00	1, 100. 00
	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	引き続き、各種学習・文化発表会への参加費用の負担を行うものである。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	引き続き、各種学習・文化発表会への参加費用の負担を行うものである。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	942	1,253	1,169	1,298	1,298
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	942	1,253	1,169	1,298	1,298
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	8	0	0
トータルコスト		942	1,253	1,177	1,298	1,298

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		マナーアップ推進事業		担当課 指導室
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間 年度～平成28年度
	施策	学校教育の充実		種別 任意の事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働 事業協力
予算科目コード		01-100103-11 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 茨城県と連携して毎年「さわやかマナーアップ運動」事業を実施している。また、守谷しぐさ推進委員会（守谷市教育研究会特別活動部会）を中心に、各中学校区において「守谷しぐさ」の実践を創意工夫しながら推進している。
児童生徒が基本的生活習慣を確立し、あいさつを進んで行ったり、公共マナーを意識して行動したりすることができるよう、県の事業として開始された。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
児童生徒の望ましい基本的生活習慣の定着及び規範意識、公共マナーの向上を目指す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が豊かな心を育み、良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
一貫教育の推進に伴い、「わたしたちの守谷しぐさ」を作成した。発達段階にあった題材選択及び活用を周知し、積極的な活用を促すことが課題である。また、日常生活の場において実践力の育成が求められる。	合同あいさつ運動への参加のみならず、各中学校区において異校種が連携し、あいさつ運動やボランティア活動に取り組んでいる。 冊子「わたしたちの守谷しぐさ」を学校や家庭で活用し、通して、様々な生活場面で相手を思いやるしぐさについて考え、日常的な実践へとつなげている。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
マナーアップに関する活動（合同あいさつ運動）に参加した児童生徒（人）	0.00	0.00	250.00	280.00	350.00
冊子「守谷しぐさ」を活用した授業を実施した学校数（校）	0.00	0.00	13.00	13.00	13.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	児童生徒がマナーアップに係る活動を行う事業であり、各中学校区で既に実施していることを考慮すれば、この事業の成果向上の余地は少ない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☒ 統合 ☐ 廃止・終了	事業趣旨から鑑み、本事業は次年度から「一貫教育事業」に組み入れることを検討したい。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	226	120	896	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	226	120	896	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	5.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	21	0	0
トータルコスト		226	120	917	0	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		いじめ問題調査事業		担当課 指導室
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間 平成27年度～
	施策	学校教育の充実		種別 法定事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働 実行委員会
予算科目コード		01-100103-22 単独	根拠法令・条例等	いじめ防止対策推進法 守谷市いじめ問題重大事態調査委員会及び守谷市いじめ問題重

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
情報化社会の進展や保護者の価値観の多様化等により、いじめ事案が複雑化する傾向がある。いじめ事案の解決には、当該いじめ事案の事実関係を明確にする必要があるため、この事業を開始した。	重大事態が起きた場合は、以下のように対処し、解決に努める。 ① 教育委員会は調査委員会を設置し、当該重大事態に係る調査を行う。その際、学校は調査委員会に積極的に資料を提供するとともに、その調査の結果や助言を重んじ、主体的に再発防止に取り組む。教育委員会は、その調査結果について市長へ報告する。 ② ①における調査結果を基に、市長が、再調査をする必要があると認めた場合、「守谷市いじめ問題重大事態再調査委員会」（以下「再調査委員会という。」を設置し、再調査を行う。市長は、再調査委員会の調査結果を議会に報告する。 ③ 再調査等の結果を踏まえ、学校は教育委員会、関係諸機関、保護者等と連携し、当該調査に係る重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生の防止のために必要な措置を講ずる。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
いじめ重大事態が発生した場合、当該重大事態に係る事実関係を明確にする。	
（参考）基本事業の目指す姿 児童生徒が豊かな心を育み、良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）		具体的内容とスケジュール	
改善内容（課題解決に向けた解決策）			
次年度のコストの方向性（→その理由）			
☐増加 ☐維持 ☐削減			

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
いじめ重大事態が発生した場合、当該事案に迅速かつ適切に対応することができる。	守谷市保幼小中高一貫教育の強みを生かし、「守谷きらめきフォーラム」をはじめ、いじめ未然防止に向けた様々な取組を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
いじめ重大事態の発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
委員会の開催数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	重大事態は、特に発生していない。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	現在の体制整備は必要不可欠であるが、実際の調査活動が行われないよう学校と連携していじめの未然防止に向けた取組を推進する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	43	33	56	56
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	43	33	56	56
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	14.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	57	0	0
トータルコスト		0	43	90	56	56

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		小学校図書館活動推進事業		担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成28年度～
	施策	学校教育の充実		種別	任意的事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働	その他
予算科目コード		01-100201-06 単独	根拠法令・条例等	学校図書館法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成18年に策定された「子ども読書推進計画」に基づき、平成20・21年度に学校図書館のデータベース化を行った。中央図書館から平成28年度に事務移管し以来中央図書館と連携して学校図書館の整備に当たっている。	学校図書奉仕員の配置，学校図書館システム機器借上などを行い，学校図書館の運営環境を整備する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
児童の創造力を培い，豊かな心を育み，主体的学習活動支援や情報収集活用能力向上を図るとともに，教員がより効果的な教育活動を行うための支援をする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が豊かな心を育み，良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
図書館指定管理者への委託を検討する。	学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器の借上げ等を行い，学校図書館の運営環境を維持した。 また，学校図書館の運営を中央図書館の指定管理者に委託化する検討をして，費用対効果を勘案して現状運営形態を継続することにした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
学校司書配置人数（人）	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器の借上げ等を行い，学校図書館の運営環境を維持している。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器の借上げ等を行い，学校図書館の運営環境を維持しながらも，関係課等と連携して，学校司書（学校図書館奉仕員）の資質向上による学校図書館の充実を図る。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	8,264	9,022	9,022
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	8,264	9,022	9,022
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	133.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	545	0	0
トータルコスト		0	0	8,809	9,022	9,022

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		中学校図書館活動推進事業		担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	平成28年度～
	施策	学校教育の充実		種別	任意的事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働	その他
予算科目コード	01-100301-07 単独		根拠法令・条例等	学校図書館法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成18年に策定された「子ども読書推進計画」に基づき、平成20・21年度に学校図書館のデータベース化を行った。中央図書館から平成28年度に事務移管し以来図書館と連携して学校図書館の整備に当たっている。	学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器借上などを行い、学校図書館の運営環境を整備する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
生徒の創造力を培い、豊かな心を育み、主体的学習活動支援や情報収集活用能力向上を図るとともに、教員がより効果的な教育活動を行うための支援をする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が豊かな心を育み、良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
図書館指定管理者への委託を検討する。	学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器借上などを行い，学校図書館の運営環境を維持した。 また，学校図書館の運営を中央図書館の指定管理者に委託化する検討をして，費用対効果を勘案して現状運営形態を継続することにした。

評価（指標の推移、今後の方向性）						
指標名		基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
学校司書配置人数（人）		4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）						
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下		学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器借上などを行い，学校図書館の運営環境を維持している。				
今後の事業の方向性（→その理由）						
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了		学校図書館奉仕員の配置，学校図書館システム機器借上などを行い，学校図書館の運営環境を維持しながらも，関係課等と連携をして，学校司書（学校図書館奉仕員）の資質向上による学校図書館の充実を図る。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	2,391	2,478	2,478
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,391	2,478	2,478
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	98.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	402	0	0
トータルコスト		0	0	2,793	2,478	2,478

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		総合教育支援センター事業		担当課 指導室
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間 平成28年度～
	施策	学校教育の充実		種別 任意的事務
	基本事業	豊かな心を育む教育の推進		市民協働 共催
予算科目コード		01-100103-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市総合教育支援センター運営規則

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
全国的にも増加し続ける不登校等，児童生徒の悩みに寄り添い，それを解消するために教育相談，訪問相談，心理検査等多様な方法で総合的に支援を行う必要があるため，今までの3事業（適応指導教室「はばたき」，教育相談，心の教室相談員派遣事業）を統合し，平成28年から開始した。	1 適応指導として，不登校児童生徒に社会性や協調性，自立心を培うことで，学校生活への復帰を支援する。 2 教育相談・巡回相談として，保護者や教職員，児童生徒の悩みに対して電話・来所・訪問等で相談に応じる。 3 就学相談として，就学前指導の心身の発達の相談や発達障害等の相談に応じ，適正な就学を支援していく。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
不登校やいじめなど生徒指導で配慮が必要な児童生徒，発達障がい等を含め特別な支援を必要とする児童生徒及びその保護者や担任などに対して，専門的かつ積極的な支援を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒が豊かな心を育み，良好な人間関係が築けるようにする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
・平成２７年度における守谷市の不登校率は1.35%で、全国的にも高い数値になっている。	・各種相談を充実し、２月現在で５５８件の相談に応じた。 ・アウトリーチ型支援を行うことで、学校との連携を強化した。 ・不登校グレーゾーンの児童生徒に対して支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
総合教育支援センターにおける各種相談の総件数（件）	0.00	0.00	606.00	650.00	700.00
守谷市における小中学校全体の不登校率（％）	0.00	1.35	1.18	1.15	1.10
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	・平成２８年度、２月現在の不登校率は1.18％であり、昨年度と比較して減少している。 ・各種相談体制を構築し、合計５５８件の相談に応じることができた。 ・アウトリーチ型支援を行うことで学校との連携を強化することができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	今年度構築した相談体制や支援体制を更に充実させ、支援を必要とする児童生徒に対して計画的・継続的な支援を行っていく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	11,736	12,807	12,807
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	11,736	12,807	12,807
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	306.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,255	0	0
トータルコスト		0	0	12,991	12,807	12,807